



# 地域連携室です。

## 『神経内科から脳神経内科へ』

神経内科 奥田文悟

まず、当院でも神経内科外来が開設されていることをご存知でしょうか？ 神経内科は「なじみがない」とか「とっつきにくい」と感じておられる方もおられるのではないのでしょうか？ 実は、寝たきり（要介護4以上）となる患者さんの半分以上は、神経内科に関連した病気が原因となっています。

神経内科医の診療する疾患は、脳・脊髄から末梢神経や筋肉にわたりますが、脳卒中、認知症やパーキンソン病など加齢に関連して発症する病気が主体となるからです。

学会では、診療科の名称を「神経内科」から「脳神経内科」へ変更することが決定しています。歳のせいだと諦めず、より身近になった「脳神経内科」を受診してください。



## 【回復期リハビリテーション病棟から】

【入退院状況 ～H30.7月末現在～】

- ①退院許可から当院転院までの平均日数（過去3か月間） ⇒ 4.9日
- ②在宅復帰率（過去半年間） ⇒ 79%
- ③重症度率（過去半年間） ⇒ 31%

診療上提供書を確認させて頂きましたら、医師等と受け入れについて速やかに検討させて頂き、当日か、翌日にはお返事をさせていただきます。

### 送迎の充実

急性期病院から当院への転院の際は、担当相談員が看護師と共に、入院されている病院までお迎えに上がります。↵

また、当院入院中の他医療機関への受診についても、福祉車両での送迎が可能です。↵

### 家族カンファレンス

当院回復期リハビリ病棟へご入院中は、月に一度、ご家族へ患者様の現在の状態をご説明させていただきます。退院先や退院時期についてもご相談が可能です。↵

担当医、担当リハビリスタッフ、看護師、相談員、栄養士が同席しておりますので、各職種へ直接ご相談頂けます。↵



## 【医療療養病棟から】

師長 長谷川久次

当病棟は『医療療養病棟』です。比較的医療提供が必要な患者様に対して、医療療養の場を提供しています。急性期病院での治療を完了したけれど、自宅療養を行うにはご本人やご家族共に不安を抱えている継続療養の必要な方や、在宅や施設で生活されていて入院治療の必要な状況になった方に対して、医療・看護・介護・リハビリを行っています。

医師・看護師・介護士・医療ソーシャルワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士等がチームを組んで、医療療養生活のお手伝いや、介護保険を利用して生まれ育った地域で生活できるようなお手伝いをさせていただきます。

看取りの患者様に対しても、患者様の思い、ご家族様の思いに沿えるようなお手伝いが出来るよう心がけています。



### ちぎり絵教室

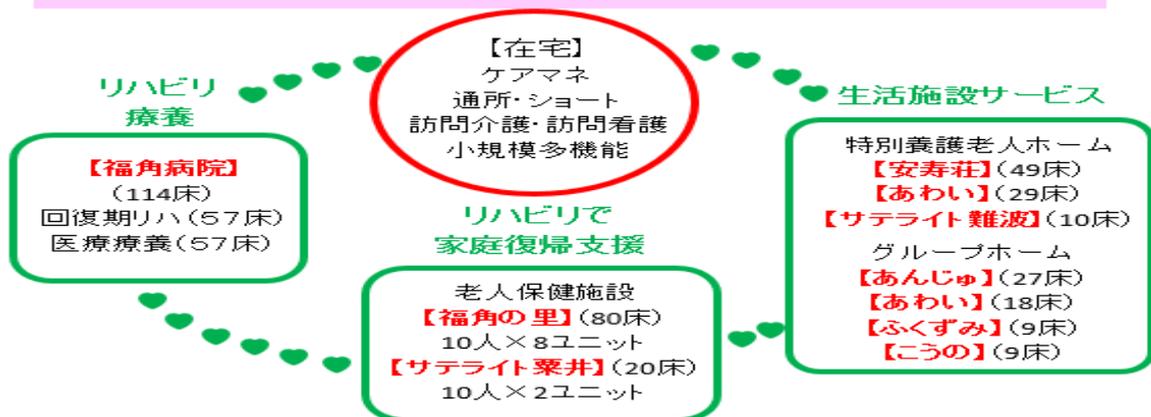


毎月1回、先生に来ていただいて「ちぎり絵教室」を行っています。季節をテーマに、先生が材料など準備していただきます。

みなさん熱心に取り組んでおられ、会話も弾みます。リハビリとしての効果も高いです。



### 【在宅生活を支える安心のバックアップ体制】



相談員：辻中聡美・正木新太郎・松本詩織（回復期リハビリ病棟）  
和田千佳（医療療養病棟）

看護師：三井稲子・上岡かよ子

ケアマネ：平田美穂子（居宅介護支援事業所『福角の里』兼務）

理学療法士：川口有里子（訪問看護ステーション『福角』兼務）

代表：黒河文博

☎地域連携室 089 (978) 7756 ※Fax 兼用